



平成30年1月15日

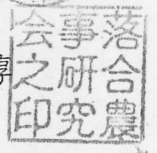
大仙市議会  
議長 茂木 隆様

大仙市協和 落合自治会  
会長 茂木広志

落合圃場整備組合  
組合長 佐川牧雄

落合農事研究会  
会長 佐川 淳

落合被災農家  
代表 元木徳一



陳 情 書

(平成29年7月豪雨災害について)

日頃より、当地区に対する様々なご支援に対し、深く感謝申し上げます。

平成29年7月22日未明からの豪雨は、私ども地域住民にとりまして、未だ経験したことない大きな被害をもたらしました。幸いにも人的な被害がなかったことが、唯一の救いでありました。

さて、当落合地区は地名のとおり、繫川(県管理河川)、奥山川、玉塔川(市管理河川)等、数本の河川合流地点があり、大雨により一気に水嵩が上がり、平成21年から今回の大雨まで一年おきに農地の流出等5回目の被害を受けている状況であります。このたびの、災害復旧事業も実施設計等被災農家への説明に入った段階であります。また、市議会はじめ関係機関のご尽



力により激甚災害の適用を受け、復旧作業に着手しておりますが、高額助成とはいえ地元負担額が大きく被災農家は今の農業の現状からして、農業の継続をどうするか迷っているのが現状であります。旧荒川地区は河川沿いの田畑が多く、耕作面積の7割から8割の被害を受けており、収穫皆無あるいはそれに近い面積も被災農地の5割近くあります。

以上のことからしても、市に対しまして一日も早い実施設計の概要と今後の工事の進め方など地元に対しての説明をお願いいたしますとともに、農地災害にかかる地元負担額の更なる軽減の措置について、特段のご配慮をいただきますようお願い申し上げます。